

リトルシニア関西連盟 各位

リトルシニア関西連盟 審判部

「2020年度 野球規則改正」の発効について

標記の件、日本野球規則委員会より1月27日に発表されておりますが、リトルシニア関西連盟での適用については下記のとおりとします。

記

1. 適用開始日 2月22日（土）
2. チームへの伝達 春季大会ブロック予選の各試合前（メンバー交換時）に伝達する
3. 主な改正事項〔伝達する項目〕

① 投球時の「2段モーション」のボーク廃止

「投球動作の中断・変更は、走者がいればボーク」には変わりありませんが、中断・変更の意味を説明した〔注〕から、「段階をつけたり、手足をぶらぶらさせる」が削除されました。「中断」とは「途中でやめる」「一時停止する」であり、「変更」とは「windアップ⇔セットの途中変更」「投球動作⇒けん制に変更」のことだ、と改正されました。

いわゆる2段モーションは、投球動作の開始後に全身が一時停止しない限り、中断・変更には該当しなくなりましたので、ボークは適用されません。

② 走者がフェアボールに触れたときに関する文面の整理

走者がフェアの打球にフェア地域で触れば、原則アウトです。

例外は、(A)すでに野手が触れた打球 (B)野手の股間やすぐ側^{そば}に捕れるかと思われた範囲をスルーした打球にそのすぐ後ろで走者が触れ、かつ他の**内野手**の守備範囲外だった場合 (C)インフィールドフライが宣告された打球に、帰塁している塁上で触れた場合。…以上の例外だけはアウトにならず、審判員はセーフのシグナルを出します(AとBはインプレイです)。

昨年まで、前進守備の内野手の間を抜けた打球もセーフだと解釈できる余計な条文がありました。今回それが削除され、上記のとおり整理されました。

※補足1 規則改正の発表全文は、全日本野球協会ホームページ内のNewsページからご覧ください。

※補足2 2月12日のアマチュア野球規則委員会の開催を待ちました関係で、一部のブロック予選のスタートに間に合いませんでしたが、主な改正内容が規制緩和と解釈整理のみですので、2月22日から発効することとしました。ご了承ください。

以上